



一本松地区地区計画区域内の下水工事

Q

## 一本松地区地区計画 について



小川 茂 議員

A

## 地権者の理解を得るよう努める

**質問一** 中新田下新田地区・道路  
下水道整備推進協議会について。  
**二** 道路、下水道整備の進捗状況は。  
**三** 道路用地確保（寄附採納）は。  
**四** 残地が出た場合の利活用は。  
**五** 早期整備の最重要課題は。  
**答弁一（市長）** 区域内の道路・下水道整備を円滑に進めるために整備の年度割計画を協議していただいた。現在は、個別の具体的な話になっており、協議会の活動機会がない。  
今後は、年1回程度、事業の進捗状況等を報告したい。  
**二** 平成27年11月末現在の用地買収率は、新設道路が88・7割、歩行者専用道路が100割、拡幅道路が73・8割である。  
下水道工事を26年度、道路工事

を27年度から実施している。  
**三** 道路後退用地及び私道は、寄附による用地取得を進めているが、地権者数も多く、抵当権が設定されている場合は、解除する必要があるため、所有権移転登記の完了まで時間を要する。  
**四** 公園予定地等として活用したいと考えている。  
**五** 地権者の理解を得られるよう努め、円滑に寄附手続を進めることである。



A

## 子育て環境の整備等により 生産年齢人口を増やす

Q

## 地方創生・旧来型志 向の抜本的転換を

杉田 恭之 議員



に対象を拡大した25年度の助成額は2億755万9845円である。  
**三** 原則として子ども1人当たり42万円を支給するものである。  
**四** 実数の把握は困難である。平成22年国勢調査の「その他の世帯」の割合にあてはめると約2130世帯となる。  
**五** つるバス・つるワゴン特別乗車証の申請受付や子ども医療費助成金支給申請書の受付等の窓口業務の拡充のほか、介護予防教室や健康に関する事業等を行っている。  
**六** 祝金制度導入自治体の導入背景や成果などを研究していく。

**質問一** 過去5年間の出生数は。

**二** こども医療費について。

**三** 国民健康保険における出産育児一時金（祝い金）の支給金額は。

**四** 市内の三世代同居の世帯数は。

**五** 公民館から市民センターになつての業務的变化は。

**六** 新たな枠での「特別出産育児

祝金」の新設を。

**答弁一（市長）** 平成22年度が578人、23年度が552人、24年度が541人、25年度が542人、26年度518人である。

**二** 義務教育就学前までを対象としていた23年度の助成額は991

2万4598円、中学3年生まで

2万4598円、中学3年生まで